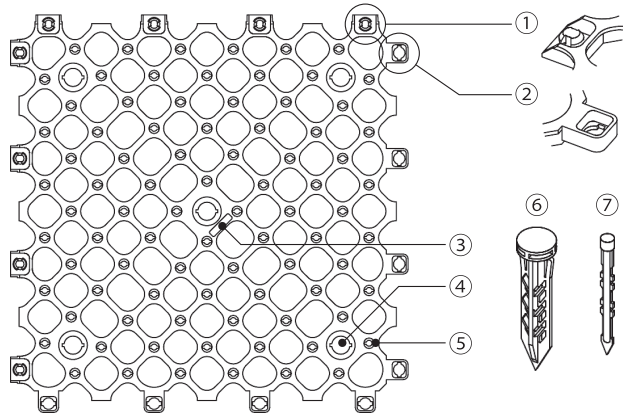


標準施工説明書

エコユニットマット (全型共通)

施工の前に本標準施工説明書を必ずお読みの上、正しく施工してください。

名称



- ① ジョイント a (8カ所) ② ジョイント b (8カ所) ③ ネームプレート
- ④ 固定ピン(大)挿入位置(合計 5カ所) ⑤ 固定ピン(小)挿入位置(合計 8 4カ所)
- ⑥ 固定ピン(大) ⑦ 固定ピン(小)

※固定ピン(大)はエコユニットマット 1 枚につき 1 本付属しています。
 ※固定ピンは別売りとなります。不陸の多い場所やカット加工がある場合は別途ご注文ください。

仕様

| 品名 | 型式 | 色 | 材質 | 重量 |
|-----------------------|------------------------|--------------|--------------|------------|
| エコユニットマット ハード | EUM - 010 | グリーン | ポリエチレン | 655.0g / 枚 |
| エコユニットマット ソフト | EUM - 020 | グリーン | ポリエチレン + EVA | 670.0g / 枚 |
| エコユニットマット スーパースoft | EUM - 030 EUM - 031 | グリーン ベージュ | PVC | 975.0g / 枚 |
| 固定ピン(大) | | グリーン ベージュ | ポリエチレン | 27.0g / 本 |
| 固定ピン(小) | | グリーン ベージュ | ポリエチレン | 5.5g / 本 |

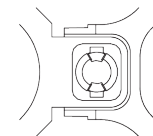
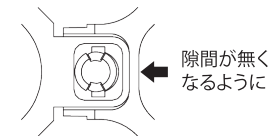
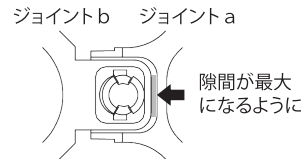
(重要) 熱伸縮対策について

エコユニットマットに限らず、プラスチック製品は温度の影響で寸法の伸縮が発生します。特に冬季の施工は夏場のたわみや浮き上がり等の原因になる可能性があります。連結の際には必ず以下を参考にしてください。

冬季(概ね15℃以下)

夏季(概ね30℃以上)

春秋(概ね15~30℃)



エコユニットマットを引っ張るようにして固定してください。

エコユニットマットを押し付けるようにして施工してください。

極端な意識は不要です。

※時期に関わらず、エコユニットマットを適切に配置後は、速やかに固定ピンで固定してください。

使用上の注意

- ・自転車、バイク、自動車での走行は禁止して下さい。
- ・製品が破損した場合は速やかに新品と交換して下さい。破損部でケガをする恐れがあります。
- ・エコユニットマットが浮き上がったり、ずれたりした場合は、固定ピン(大)又は(小)で固定して下さい。
- ・降雨時や斜面は滑りやすくなる恐れがありますので注意喚起をして下さい。
- ・通行量過多や、日照不足、排水不良など、使用環境により芝生の生育に問題が生じることがあります。
- ・芝生施工後は十分に養生して下さい。
- ・夏期や乾燥時には十分に灌水して下さい。



株式会社キタイ製作所



本 社 工 場 〒538-0041 大阪市鶴見区今津北4丁目10番1号
 TEL(06)6968-2921 FAX(06)6968-2926
 東 京 営 業 所 〒130-0005 東京都墨田区東駒形2丁目13番10号ルミエール逆井101号
 TEL(03)5608-5471 FAX(03)5608-5473

本 社 ・ 本 社 工 場
 ISO9001:2015 認証取得
 ISO14001:2015 認証取得

施工方法

エコユニットマットの標準施工に関して明記します。

工程①②③④

- ・基準とする場所から順に施工します
※ 基準はカット加工を必要としない施工場所の端部とすることをお勧めします。
- ・必ずネームプレートを目安に向きを揃えてください。
- ・連結後は固定ピン(大)で固定してください。
※ 固定する前に必ず『(重要)熱伸縮対策について』を参考にしてください。
※ 固定する前にマット全体の波打ちや蛇行がある場合は、修正してください。
※ 固定ピン(大)の打込みはゴムハンマー等を使用してください。
※ 固定ピン(大)を打込む際、土中の石などに当たると破損する可能性があります。
抵抗があった場合は固定ピン挿入位置を変えてください。

工程⑤⑥

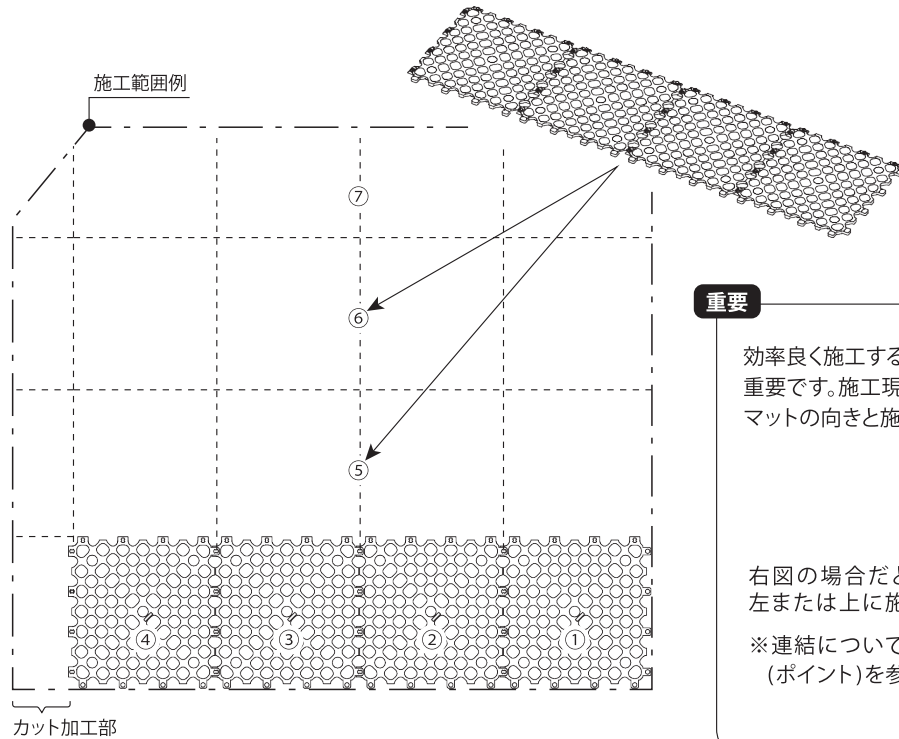
横一列の施工が完了したら次の列を施工してください。事前に一列分を連結しておけば、作業効率が良くなります。

工程⑦

周縁部や干渉物などでエコユニットマットがそのままの状態では施工出来ない場合、干渉しないように切断してください。
※ 周縁部は必要に応じて、固定ピン(小)で補強固定してください。

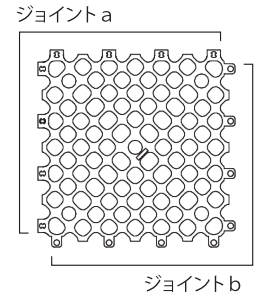
確認作業

- ・施工後、たわみや浮き上がりを確認した場合、必ず固定ピン(大)または(小)で該当部を矯正してください。
- ・固定ピンの頭部が出ていないかを確認してください。



重要

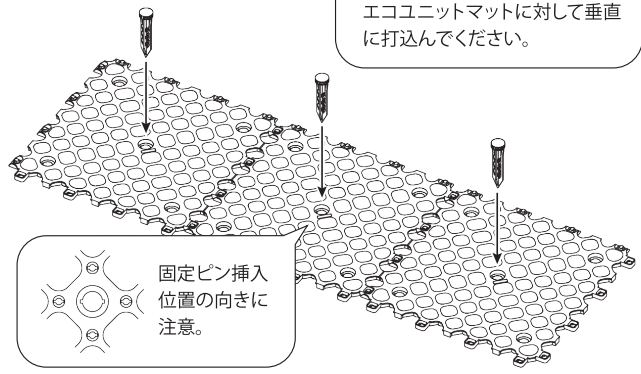
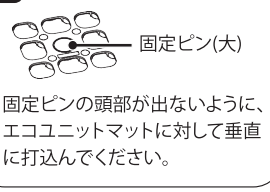
効率良く施工するには、エコユニットマットの向きが重要です。施工現場の状況に合わせてエコユニットマットの向きと施工の向きを判断してください。



右図の場合だと、左または上に施工
※ 連結について (ポイント)を参照

固定について

注意

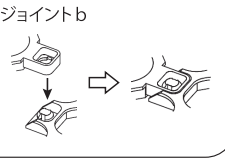


連結について



ポイント

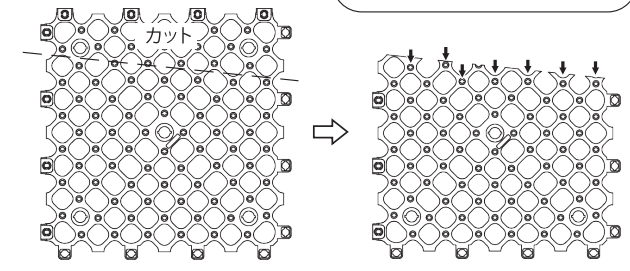
連結は、常にジョイントbを上から嵌め込むように施工すると作業効率が良くなります。
※ 硬い場合はゴムハンマー等で軽く打込んでください。



カット加工について

注意

カット加工を行った場合は必ず固定ピン(小)で固定してください。(矢印部)



| | | |
|---------------------|--------------------------------------------------|---------------------------------------------|
| カット加工に使用する道具 (タイプ別) | エコユニットマットハード エコユニットマットソフト エコユニットマットスーパーソフト | → 電動ノコギリ・ノコギリ等 → ノコギリ・万能ハサミ等 → 万能ハサミ等 |
|---------------------|--------------------------------------------------|---------------------------------------------|

●製品の改良のため、事前の予告なしに仕様・外観の変更を行うことがあります。●印刷・表示機器の特性上、現物やカタログ記載の写真などと多少異なることがあります。